

その他の金属製品製造業における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9~10	約4tの品物を荷台にのせて引っ張って移動している時、前輪のタイヤに左足親指付近に乗り上げ骨折した。	70~29	10
3	11~12	当社工場内において、シャッターの部品のスラット（長さ6.7m、巾10cm、重さ2枚1組で10kg）の洗浄作業中、高さ70cmの台車に10枚ほど積まれていたものが滑り落ちてきて、右太ももと右足首を受傷した。	66~29	10
3	11~12	当社工場内でアルミ部材をコマ付台車に載せ移動中、建物と屋外の段差でバランスをくずし台車が倒れるのを防ごうとし、台車に挟まれた。	63~29	10
3	11~12	検査室内で台車に積まれた製品の入った箱を運ぶ為、持ち上げ歩き出そうとしたところ台車に足を引っ掛け転倒し、左膝を強打した。	55~299	100
3	9~10	事業場の試験室から金属屑の入った四輪付の台車（総重量約700kg）の持ち手を引っ張って室外の通路に移動させる作業をしていた。途中、試験室ドアのレール（高さ約2cm）を乗り越えるため、少し強めに引っ張ったところ、台車が通路では止まりきらず横断して、その先の道路部に落ちてしまった（段差約18cm）。その際、台車が進行方向に倒れてしまい、持ち手と地面との間に左手を挟まれた。	44~49	30
4	20~	Φ90×6000mmをPS-305でプレス作業中、曲がりが取れない箇所があるワークが1本あり、ワークを反転させるため手動運搬用台車にクレーンで乗せて手押しで反転しようとしていた。（過去に材料を反転させ作業したところ直った経緯があった非	60~	50

	21	定常作業) ワークの乗った台車 (ワーク重量305kg) を押した際に台車内でバランスを崩し、ワークが動き、台車ごと作業員の方向へ転倒した。咄嗟に身を引いたが、左足太腿に台車の角を引っ掛け裂傷した。		99
5	15～ 16	工場内の焼付釜に製品を台車に載せ入れる際、釜の入口の段差 (鉄板一枚分の段差) で、製品と台車の間にあった木材がずれ、指を挟む。	58	1～ 9
6	18～ 19	工場内にて作業中、切粉出しをしている時に、切粉を入れておく箱をどかすのに台車のストッパー付近を左足で蹴ったところ足首を捻った。	55	10 ～ 29
7	9～ 10	工場内で、パレットから台車に鉄板を積み終えて、パレットの位置をずらすため移動しようとしたときに、台車の端に鉄板を置いたため、台車のバランスが悪くなり、台車から鉄板が崩れ落ち、それが右足に当たり負傷した。	38	10 ～ 29
9	14～ 15	製品の集塵作業を終えて別の持ち場に行こうと振り返りかけたところ、体がよろけて後ろにあった圧粉体台車の淵に左前腕が接触、裂傷し流血した。	43	300 ～ 499
11	17～ 18	工場内において電動ハンドリフトで切断完了パレットの移動作業を行っている時に、ハンドリフトの車輪に足を踏まれ負傷した。(本人の運転による。)	34	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html